

各位

上場会社名 東亜ディーケーケー株式会社
代表者 代表取締役社長 佐々木 輝男
(コード番号 6848)
問合せ先責任者 常務取締役 玉井 亨
(TEL 03-3202-0211)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成22年8月5日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

平成23年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	13,000	960	900	930	57.27
今回発表予想(B)	13,500	1,230	1,200	1,000	60.24
増減額(B-A)	500	270	300	70	
増減率(%)	3.8	28.1	33.3	7.5	
(ご参考)前期実績 (平成22年3月期)	12,681	863	861	503	30.99

平成23年3月期通期個別業績予想数値の修正(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	12,300	720	780	890	54.80
今回発表予想(B)	12,700	910	1,000	960	57.83
増減額(B-A)	400	190	220	70	
増減率(%)	3.3	26.4	28.2	7.9	
(ご参考)前期実績 (平成22年3月期)	11,910	551	608	374	23.06

※上記の予想は現時点で得られた情報に基づき算定したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合がございます。

修正の理由

(1)連結業績予想

当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高においては、中国、韓国など東アジア向けの輸出が比較的好調だった他、国内市場での環境プロセス分析機器、医療用機器、そして提携先の米国HACH社製品の販売等が堅調で、総じて回復基調で推移いたしました。また、利益面においては、数年前から全社的に取り組んできた改革運動がもたらしたムダ、ロスの徹底排除によるコスト削減策により利益が滲み出し、収益性が著しく改善したことに加え、武蔵野RDセンター跡地売却に伴う特別利益の計上があり、営業利益、経常利益、当期純利益のいずれも想定を大きく上回ったことから、上方修正することにいたしました。

(2)個別業績予想

連結業績予想の修正と同様の理由であります。

以上